# 厚生労働科学研究費補助金(労働安全衛生総合研究事業) 総合研究報告書

# ASEAN諸国の大学における安全管理及び安全教育 に関する調査および講義の試行に関する研究

研究分担者 宮崎 隆文 元岡山大学安全衛生推進機構・教授

研究要旨: ASEAN諸国の大学を視察して大学の実験研究設備やその水準、安全管理体 制及び安全教育について調査した。また、ミャンマーの大学における安全安全衛生 教育の試行は、安全衛生教育の意識の向上に有意であった。

## A. 研究目的

ASEANの大学における安全衛生教育の実態を調応、リスク対応、労働環境対応、危機管理対応、 |べる。また、日本式の「安全衛生教育」を施し、ミャ事故解析対応、労働安全衛生教育のセクションが ンマーの大学教育の礎に根付かせる。

## B. 研究方法

ドン大学の化学/生物系及び機械工作系研究実験室、マている。特に、強固な権限を与えられた専属スタ レーシアの国立マラヤ大学の化学系研究実験室を視ッフの配置が重要ポイントである 察して、大学及び実験研究室等の安全衛生管理状況を 調査する。今回の調査では、コロナ感染症蔓延のため、D. 考察 フィリピンの調査は実施できなかった。また、ミャン マーの工科系大学向けの安全衛生教育手法(テキスト |や資料) を教授して、現地にて試行・評価する。

## C. 研究結果

視察したラオス国立大学(12学部、学生数27000 人) はラオスを代表する総合大学である。その化学系 実験室では使用する化学物質は比較的に少なく、局所 |排気装置等の換気設備は設置されていなかった。ま た、機械系工作室には旧式の金属加工用の旋盤などが 設置されていた。一方、タイのチュラロンコン大学 (1 9学部、学生数35000人)及びマヒドン大学(16学部、 学生数27000人)はタイを代表する総合大学である。 生物系実験室には化学物質の専用保管庫の設置やバE. 結論 ーコードによる化学物質管理が実施されていた。ま |た、毒劇物を含めた化学物質が取り扱われており、危 険有害性を示すGHSラベルなどの表示やそれらの取 扱い指示書などの掲示も確認でき、日常的に安全衛生 を意識した管理下にあることが推察された。

国立マラヤ大学 (12学部、学生数25000人) はマレー シア最高位の総合大学である。安全衛生管理体制の基 F. 健康危険情報 本は機械・装置などを主とした工場管理と労働安全衛 生の関係法令に基づき、学長を頂点する厳格なピラミ ッド型体系が組織され、各部局には労働安全衛生委員

会が設置されている。理工系部局には緊急時対 設けられ、専属スタッフが配置されている。安全 衛生委員会では、機械安全、建築・施設管理、緊 急時対応、人心安全、危険物質、作業場安全、食 ラオス国立大学及びチュラロンコン大学とマヒ 品衛生、放射線安全、生物安全が検討課題とされ

訪問した各大学はその国を代表する国立大 学である。それらの大学における実験研究設備 等の水準には、国や大学によって大きな差異が あり、現場で求められる安全衛生関係の教育内 容も異なっていることが明らかになった。

マラヤ大学の安全衛生管理では、組織・体制 が整備され、各実験室の出入口付近の危険表示 などの良い工夫が認められた。また、緊急シャ ワーや消火器などの緊急時設備の設置も確認 できた。実験研究設備等の水準は、国や大学に よって差異があり、大学生の危機意識や事故対 応力も異なることが予想された。

今後も大学の現場視察を進め、当地の 現状把握すると共に、安全衛生レベルの 評価軸を策定して、安全衛生教育体系の 整備と現場に見合った安全衛生教育内 容を選定する必要がある。

(分担研究報告書には記入せず)

- G. 研究発表
- 1. 論文発表 なし
- 2. 学会発表

- 3. A trial of occupational safety and heal th lectures for technical university in Myanm ar, T. Tanaka, K. T. Lwin, K. Ito, S. Okano,
- 1.The development of occupational safety and R. Vergin, M. Kawakami and T. Miyazaki, The 6 health lectures for technological universities in th Asian Conference on Safety and Education i Myanmar, T. Tanaka, K. T. Lwin, K. Ito, S. Okn Laboratory 2019 (2019) P04.
- ano, R. Vergin, M. Kawakami and T. Miyazaki, 4. ミャンマーの工科系大学を対象とした安 ACSEL2018(OIST), 2018/11. 全衛生教育カリキュラムの開発, 伊藤和貴, R.
- 2. ミャンマーの工科大学等における労働安全衛生 Vergin, 宮崎隆文, 岡野聡,川上真似, Kay T. 講義カリキュラムの開発と試行、 伊藤和貴、田中寿 Lwin, 田中寿郎, 研究実験施設・環境安全教育郎、宮崎隆文、R.C. Vergin、岡野聡、研究実験施設・研究会、東京大学、2020/03
- 環 境安全教育研究会、東京大学、2019/03
- H. 知的財産権の出願・登録状況 なし